

# マスク着用者と非着用者の お互いに対する意識・態度 に関するアンケート調査

---

2023年10月6日

大阪大学 佐々木 周作

関西学院大学 黒川 博文

東京大学 仲田 泰祐

## 調査の背景・目的, 主な結果

---

- 日本政府により、2023年5月8日以降は、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が2類から5類に引き下げられて、マスクの着脱が個人の判断に委ねられる方針がより強調されている。
- 一方で、マスク着用習慣は相当割合の人たちの間で定着している。外見から判別しやすいこともあって、マスクの着用有無による社会的な分断が生じている可能性がある。
- アフター・コロナ時代に安定的な社会運営を実現するためには、マスクの着用者と非着用者の間の協力関係を円滑に構築できることは重要である。この調査では、経済学や心理学研究で使用される「お金の配分ゲーム」で、両者がお互いに対してどのような配分傾向を持っているかを把握して、その協力関係の構築の実現可能性を検証する。
- 主な結果として、マスク着用者の配分額は、非着用者のペアに比べて、同じ着用者のペアに対してより高額になることが分かった。
- 一方で、マスク非着用者の配分額は、ペアのマスク着用有無の違いによって変化しないことが分かった。

# 調査の概要

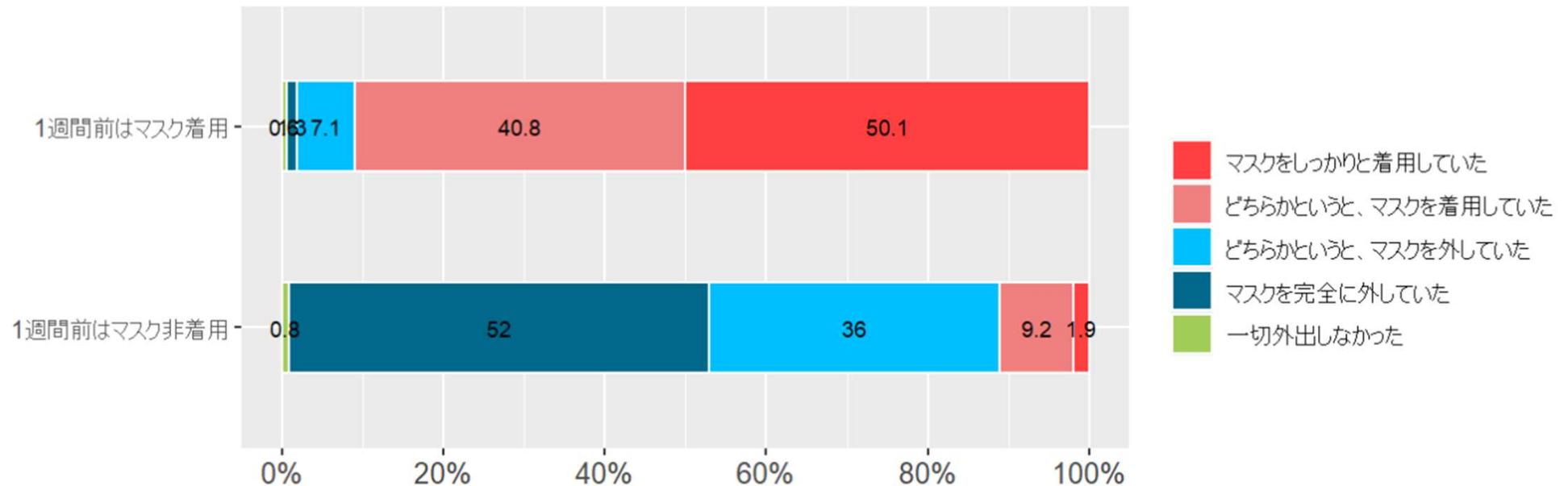
- 実施時期：2023年9月1日～5日（スクリーニングSCR調査）、9月8日～13日（本調査）
- 実施対象：東京・名古屋・大阪圏（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・岐阜県・愛知県・三重県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県）
- 有効回答数：N=3,360（本調査）
- 基本属性
  - **SCR調査**における「最近1週間、外出時に、あなたはマスクを着用していましたか？」という質問で、「マスクをしっかりと着用していた」「どちらかという、マスクを着用していた」と回答した人を『**マスク着用者**』、「どちらかという、マスクを外していた」「マスクを完全に外していた」と回答した人を『**マスク非着用者**』と定義。本調査では、比較のために同じサンプルサイズを回収した。
  - **マスク着用者**（n=1,680）
    - 男性：45.8%, 女性：54.1%
    - 平均年齢：46.8歳（内訳：20代 14.2%, 30代 17.1%, 40代 22.6%, 50代 22.8%, 60代 20.0%）
  - **マスク非着用者**（n=1,680）
    - 男性：55.0%, 女性：45.0%
    - 平均年齢：44.7歳（内訳：20代 19.6%, 30代 20.9%, 40代 26.7%, 50代 23.1%, 60代 16.5%）

---

# ① マスクの着脱状況

## マスクの着脱状況①

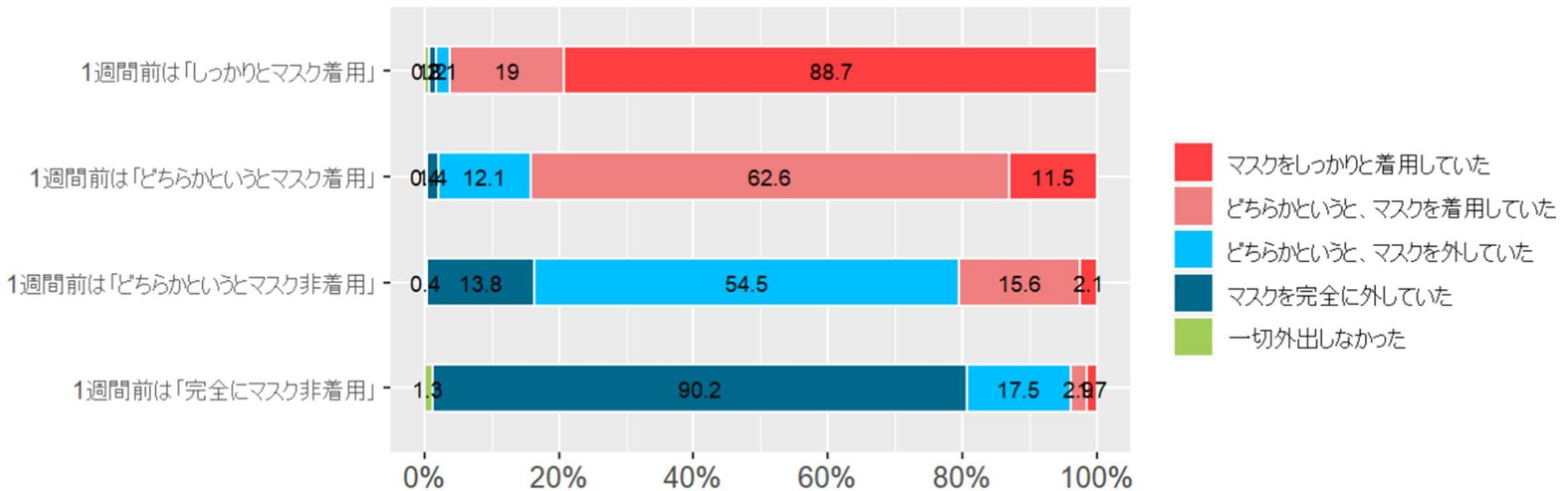
- 本調査における「最近1週間、外出時に、あなたはマスクを着用していましたか？」という質問に対する回答の割合。SCR調査から本調査の間での変化を把握。
- 両方のグループの1割程度の人たちの間で、変化が観察されている。



注：本調査の1週間前に実施したスクリーニング調査でのマスクの着用習慣に基づいて、現在の着用状況を整理した。

## マスクの着脱状況②

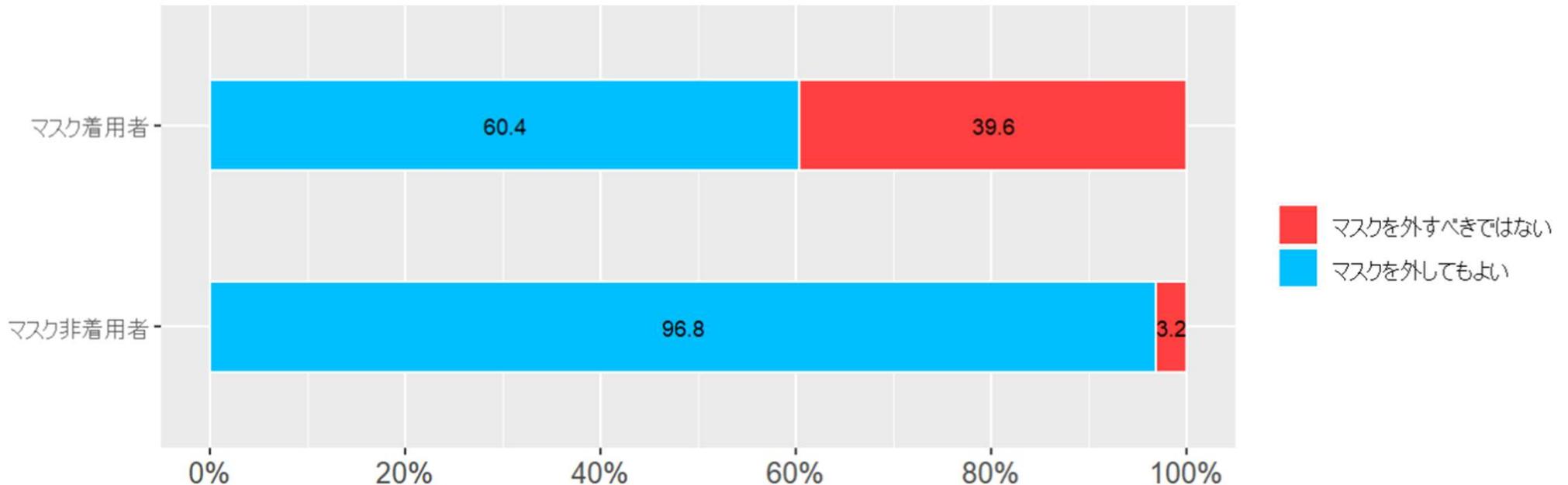
- SCR調査における着脱習慣の程度の強弱により、SCR調査から本調査への変化がどのように異なるのかを整理。
- 「どちらかというと～」の人たちの間で変化は大きい。



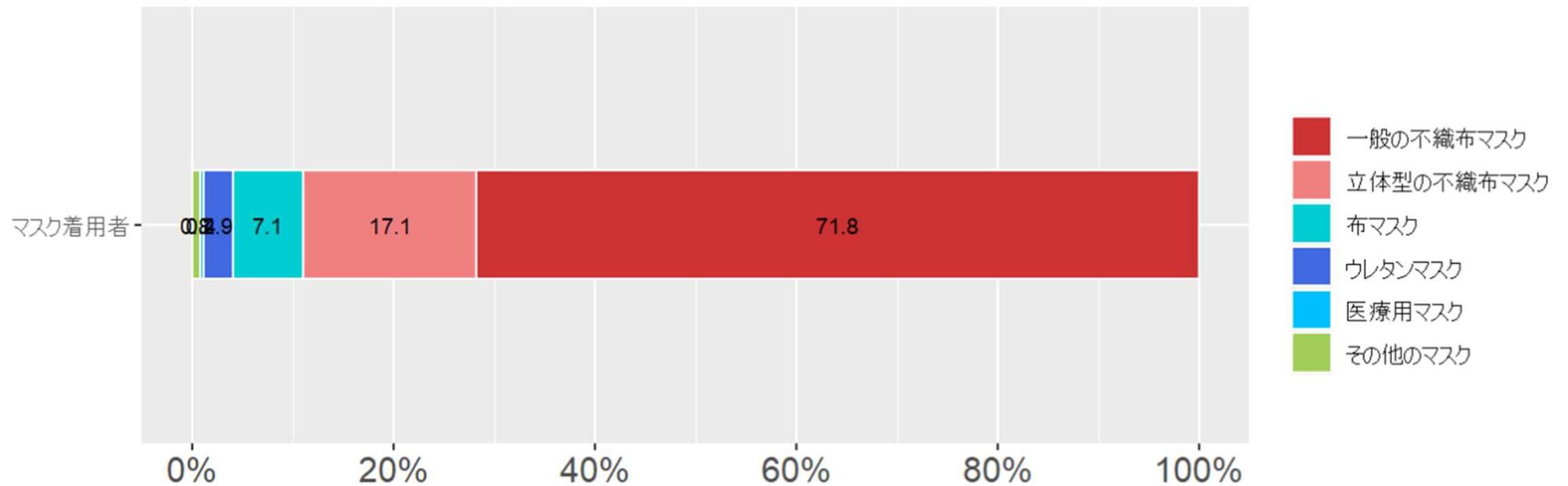
注：本調査の1週間前に実施したスクリーニング調査でのマスクの着用習慣に基づいて、現在の着用状況を整理した。

## マスク着脱の規範意識

- 「あなたは『外出時にはマスクを外すべきでない』と思いますか？」という質問。
- 実は、マスク着用者の約6割が「マスクを外してもよい」と思っている（しかし実際にはマスクを着用している）。

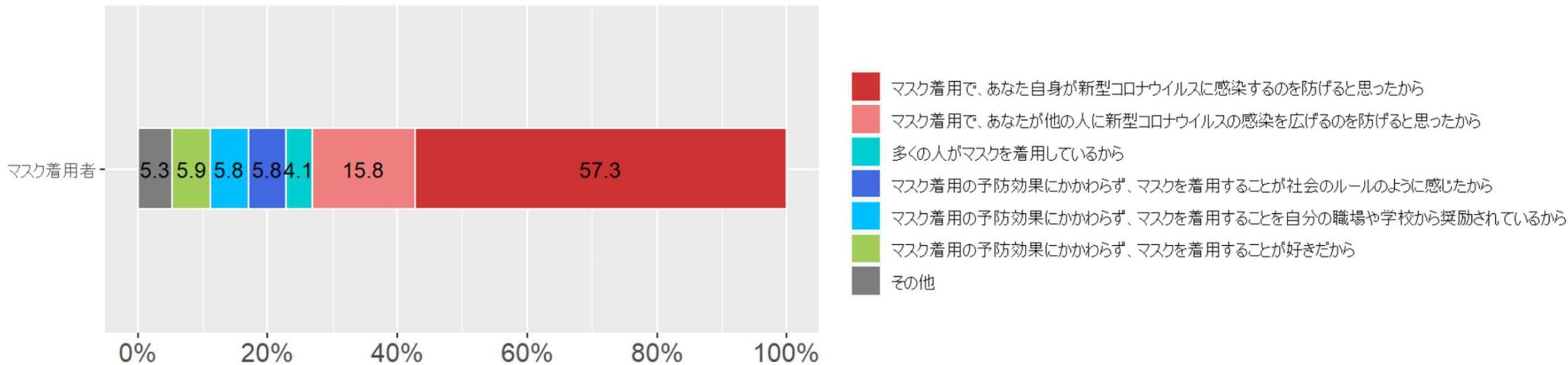


# マスク着用者が着用している、マスクの種類



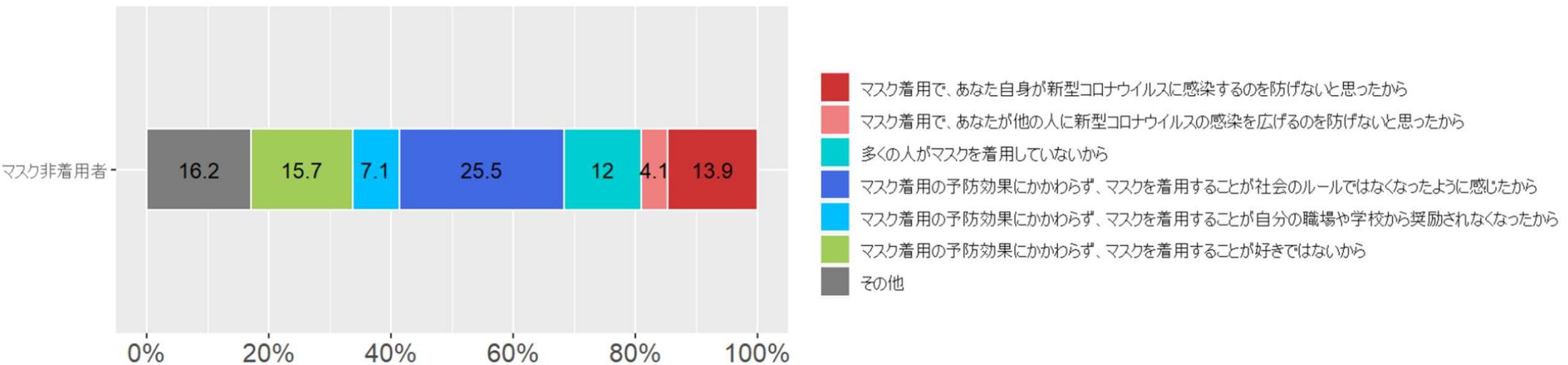
## マスク着用者の「着用理由」

- マスクを着用する理由は、「自分自身の感染予防」（57.3%）や「周囲への感染拡大防止」（15.8%）といった**公衆衛生的な観点のものが多い。**



## マスク非着用者の「非着用理由」

- マスクを着用しない理由は多様であることが分かる。
- 「社会のルールではなくなったように感じた」(25.5%) や「マスクを着用することが好きではないから」(15.7%) など。「その他」(16.2%) も多い。



---

## ② お金の配分ゲーム

## ペアがマスク着用者の場合の画面

あなたは、アンケートの謝礼ポイント（80円分）とは別に、**100ポイント**をもらえることになりました。

以下の特徴をもつ人に、あなたは、その100ポイントの内いくらかを分け与えることができます。

- その人は、同じ調査会社に登録している、**他の日本人モニター**です。
- その人は、このアンケート調査には参加していません。
- その人は、最近1週間、外出時に「**マスクを着用していた**」と回答しました。

どのような配分で100ポイントを分けるかは、あなたが単独で決定できます。  
また、その人にお金を分け与えられるのはあなただけで、他にはいません。

この場合、あなたはその人に、100ポイント中の何ポイントを分け与えますか？  
0～100の整数の中から、一つだけ数値を選んで入力してください。

## ペアがマスク非着用者の場合の画面

あなたは、アンケートの謝礼ポイント（80円分）とは別に、**100ポイント**をもらえることになりました。

以下の特徴をもつ人に、あなたは、その100ポイントの内いくらかを分け与えることができます。

- その人は、同じ調査会社に登録している、**他の日本人モニター**です。
- その人は、このアンケート調査には参加していません。
- その人は、最近1週間、外出時に「**マスクを外していた**」と回答しました。

どのような配分で100ポイントを分けるかは、あなたが単独で決定できます。  
また、その人にお金を分け与えられるのはあなただけで、他にはいません。

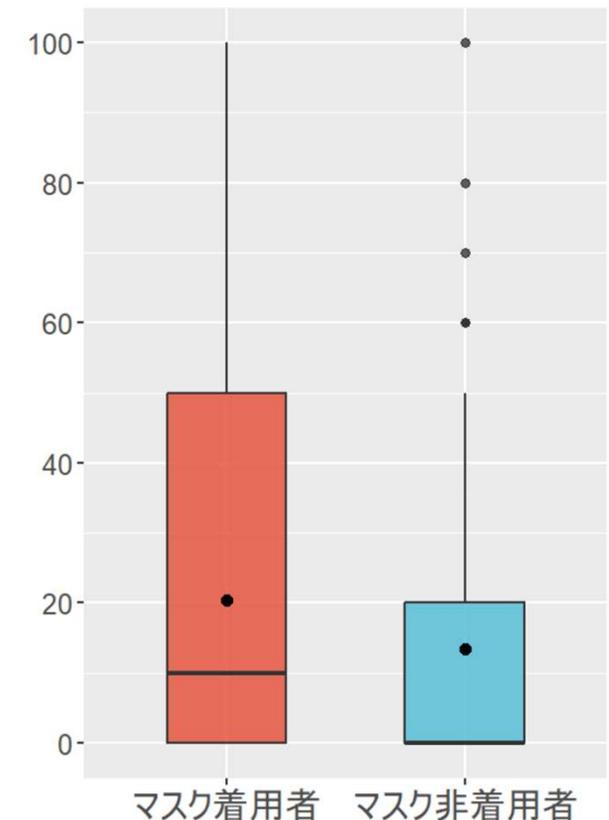
この場合、あなたはその人に、100ポイント中の何ポイントを分け与えますか？  
0～100の整数の中から、一つだけ数値を選んで入力してください。

※上記に加えて、ペアのマスク着脱状況が匿名な場合の画面も設定している。

## マスク着用者の結果

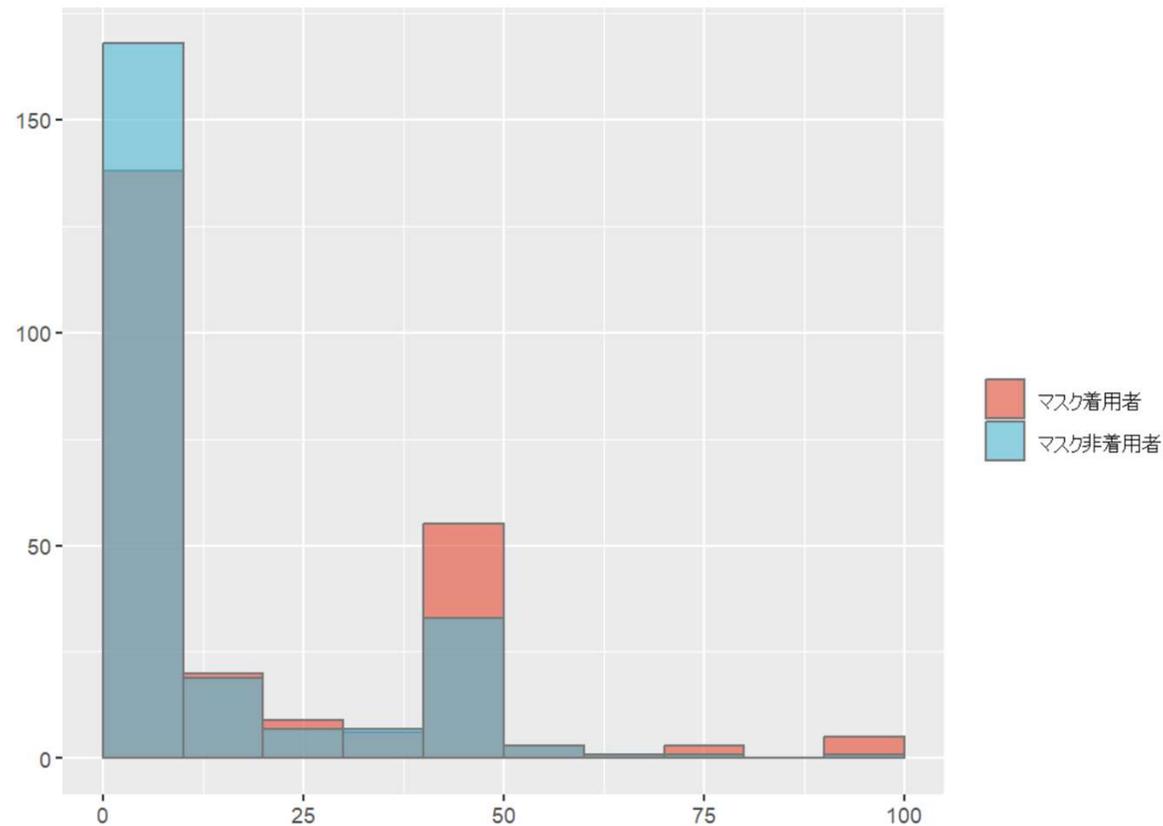
- マスク着用者の配分額は、非着用者のペアに比べて、同じ着用者のペアに対してより高額になっている。
- 差分は **6.94 ポイント** ( $p>0.001$ )。
- 効果サイズ (Cohen's D) は **0.30**。

	マスク着用者への配分	マスク非着用者への配分	匿名者への配分
n	240	240	240
平均	<b>20.39</b>	<b>13.45</b>	<b>12.31</b>
標準偏差	25.01	20.28	20.19
中央値	10	0	0
最大値	100	100	100
最小値	0	0	0



## マスク着用者の結果（ヒストグラム）

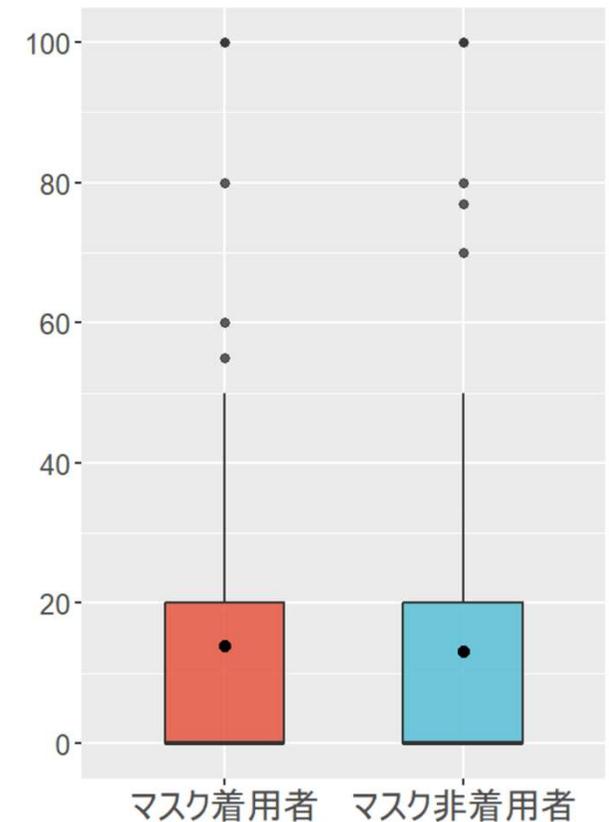
- マスク着用者は、非着用者ペアと比較して着用者ペアに対して、半々となるような配分を行っている。
- また、マスク着用者は、着用者ペアと比較して非着用者ペアに対して、一切配分しない選択の割合が大きい。



## マスク非着用者の結果

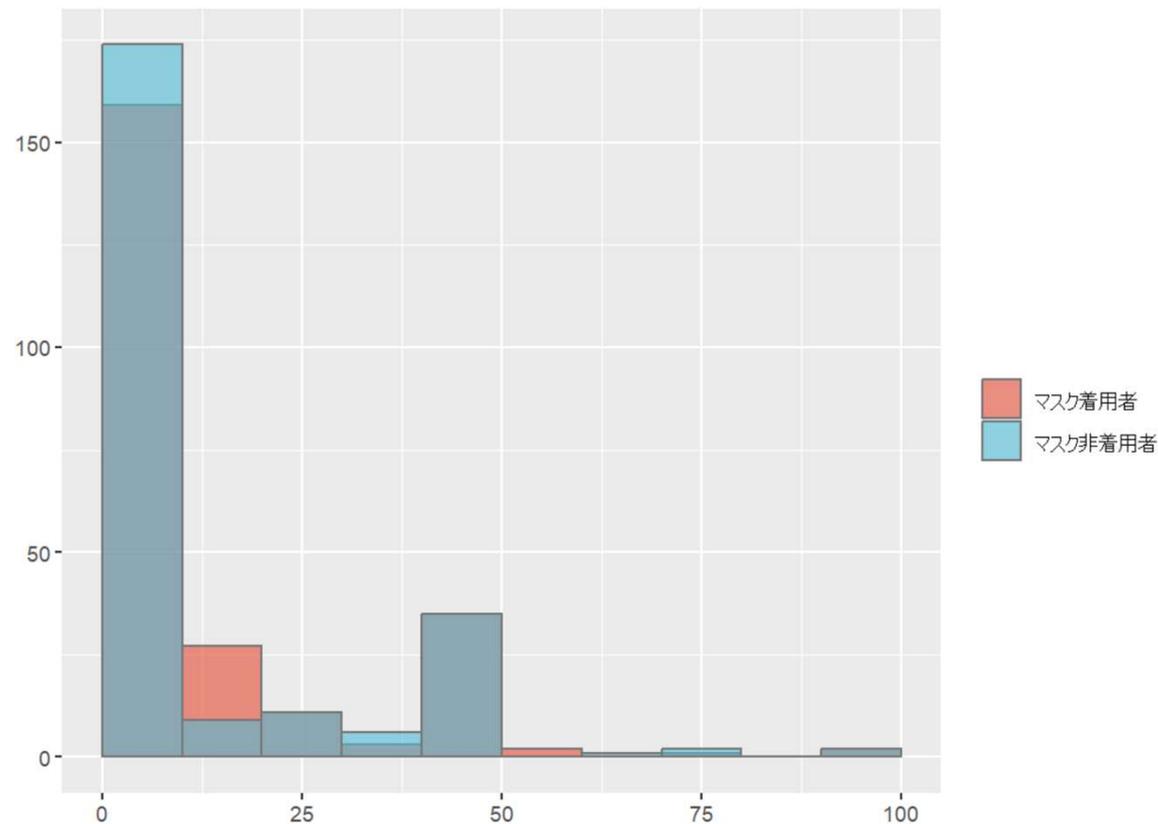
- マスク非着用者の配分額は、ペアのマスク着用有無の違いによって変わらない。

	マスク着用者への配分	マスク非着用者への配分	匿名者への配分
n	240	240	240
平均	<b>13.83</b>	<b>13.18</b>	<b>14.57</b>
標準偏差	20.56	21.17	23.26
中央値	0	0	0
最大値	100	100	100
最小値	0	0	0

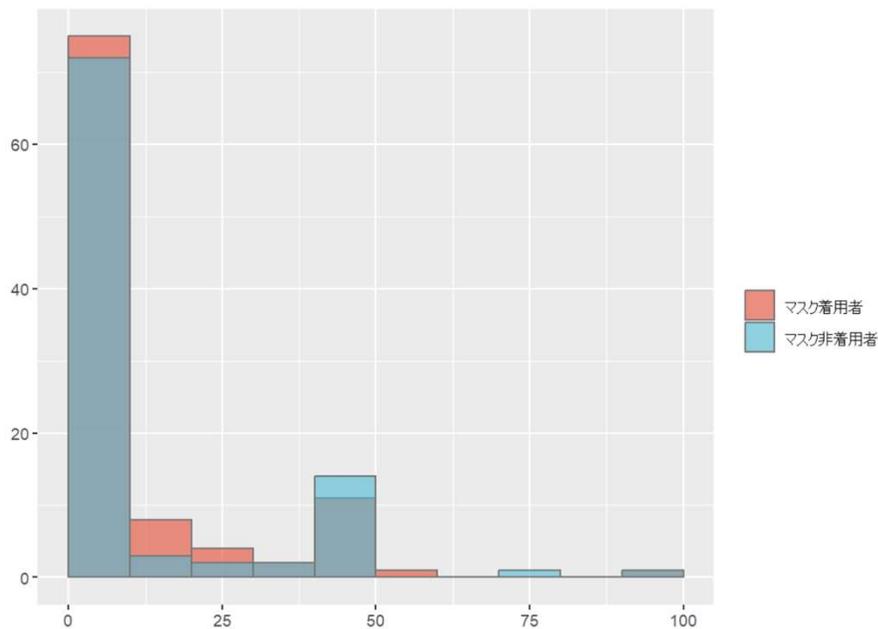


# マスク非着用者の結果（ヒストグラム）

- マスク非着用者が半々となるような配分を行う割合に、着用者ペアと非着用者ペアで違いはない。
- ただし、マスク非着用者も、着用者ペアと比較して未着用者ペアに対して一切配分しない選択の割合が若干高くなっている（「SCR調査で非着用、本調査で着用」に変化した人たちの選択が影響している可能性がある？⇒次のスライドへ）。



# マスク非着用者の結果（補足）



分析標本⇒SCR調査：「完全に外していた」 & 本調査：「完全に外していた」

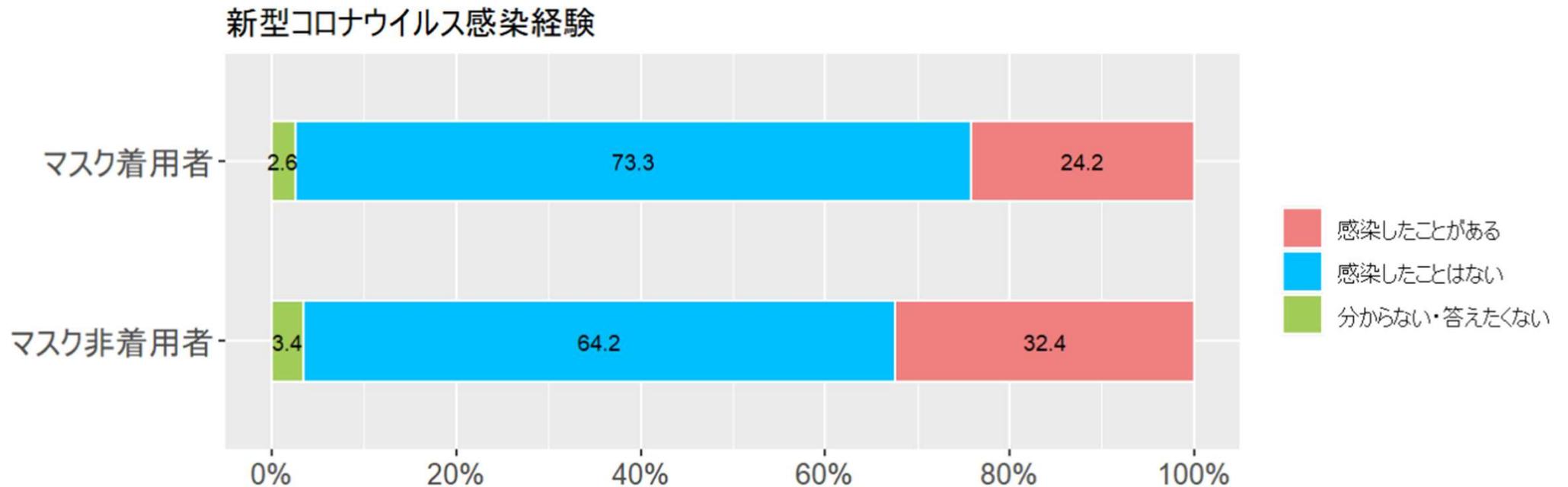
	マスク着用者 への配分	マスク非着用者 への配分	匿名者への配分
n	102	95	108
<b>平均</b>	<b>11.04</b>	<b>12.24</b>	<b>11.5</b>
標準偏差	19.61	21.55	20.05
中央値	0	0	0
最大値	100	100	100
最小値	0	0	0

---

## ③ 新型コロナウイルス関連の質問

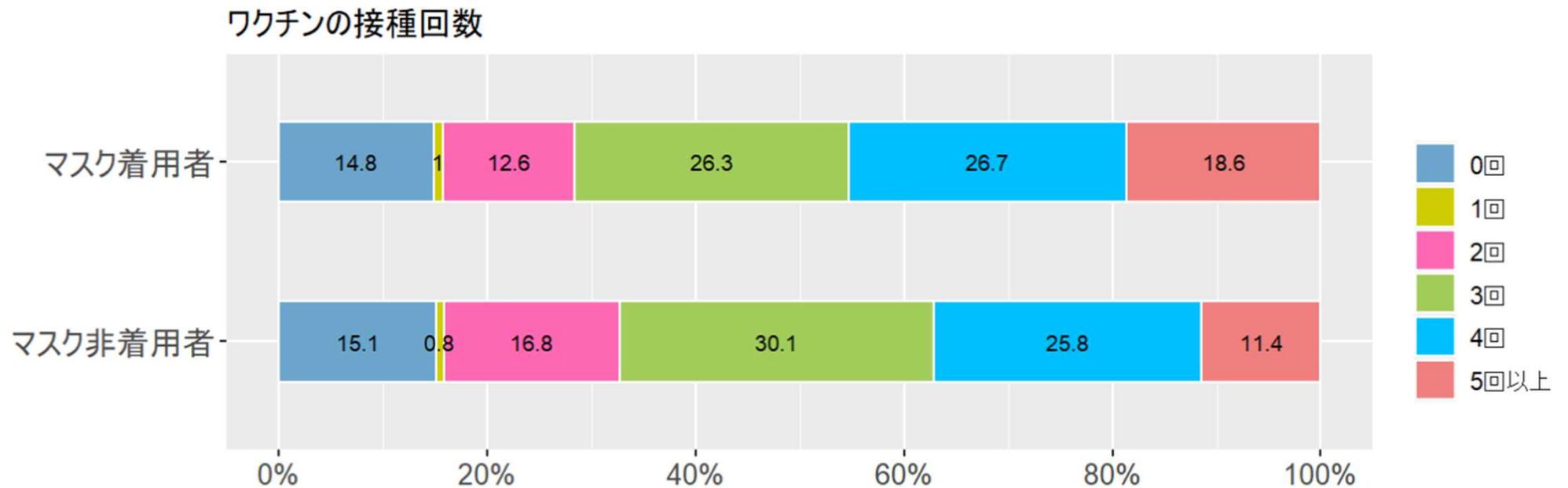
# 新型コロナウイルスの感染経験について

- マスク着用者よりも**非着用者**の方が、感染経験がある人が多い。



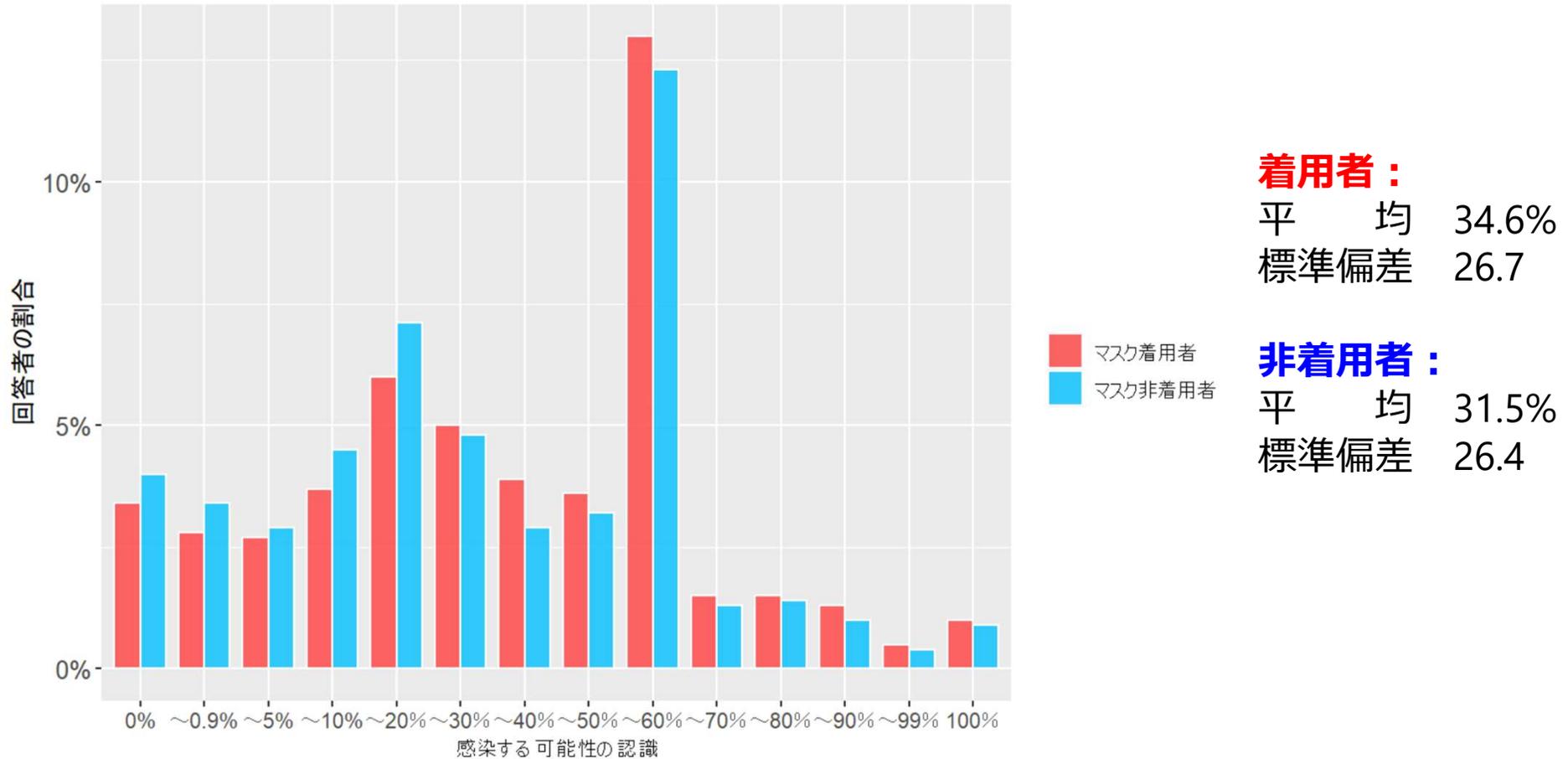
## ワクチンの接種歴

- ワクチン未接種者の割合は、二つのグループで違いがない。
- 接種者の平均的な接種回数は、非着用者よりも**着用者**の方が高い傾向。



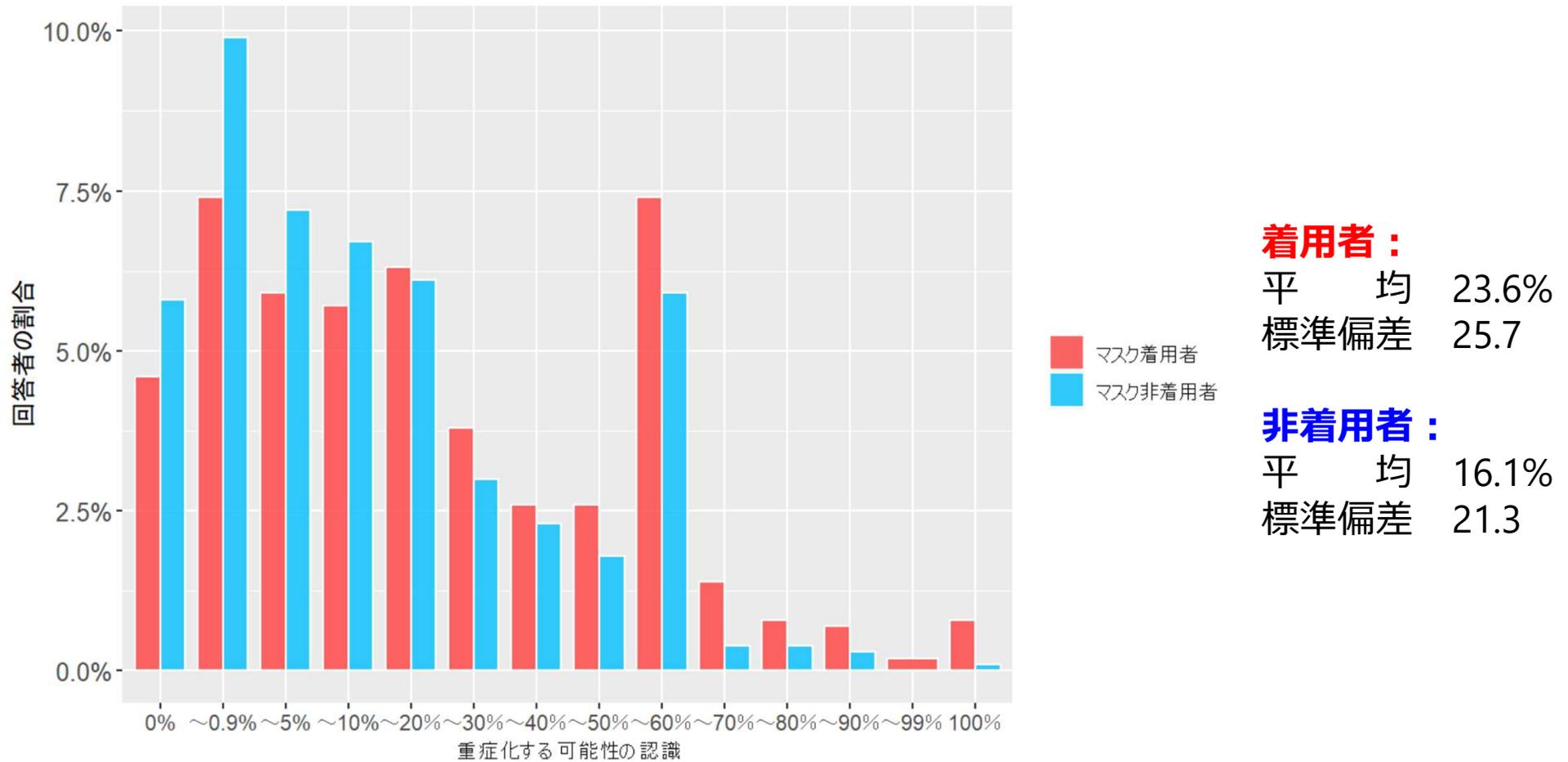
# 主観的な感染確率

- マスク着用者・非着用者でほとんど違いがない。



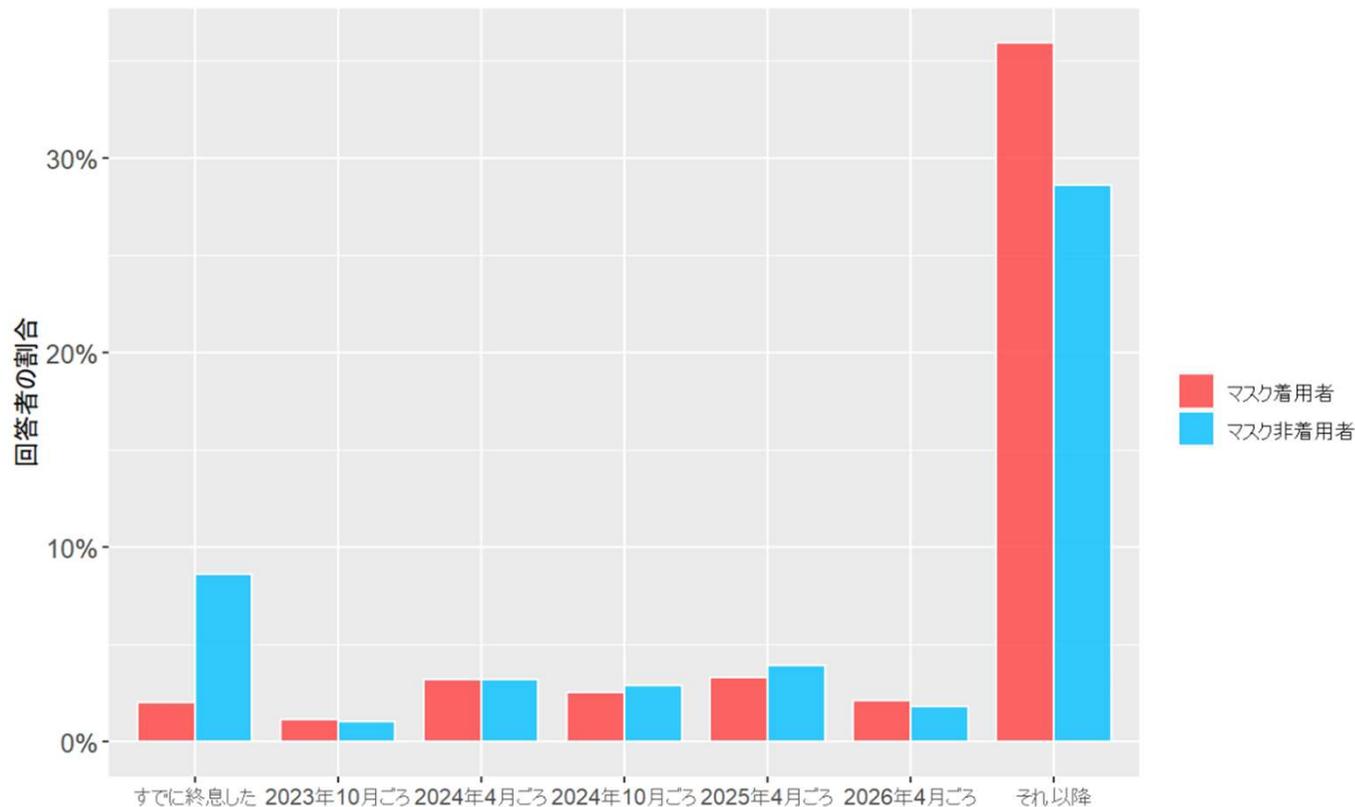
# 主観的な重症化確率

- **マスク着用者**の重症化確率の方が非着用者よりも、やや高めで分布。



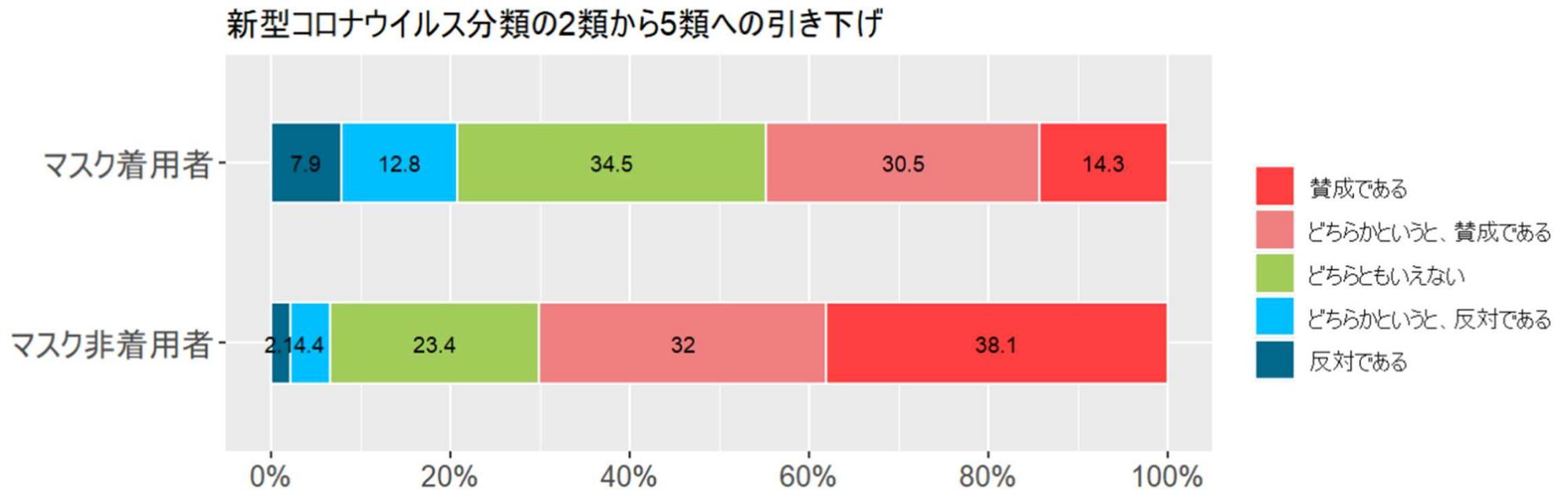
# 新型コロナ・パンデミックの完全終息時期の予想

- 完全終息時期を「2026年4月以降」と回答する人は、非着用者より**着用者**が多い。
- 「すでに終息した」と回答する人は、着用者より**非着用者**が多い。



## 2類から5類への分類引き下げに対する態度

- 5類引き下げに反対する人の割合は、非着用者（2.1%+4.4%）よりも**着用者（7.9%+12.8%）**で高いが、全体的に賛成する人の方が多数派。

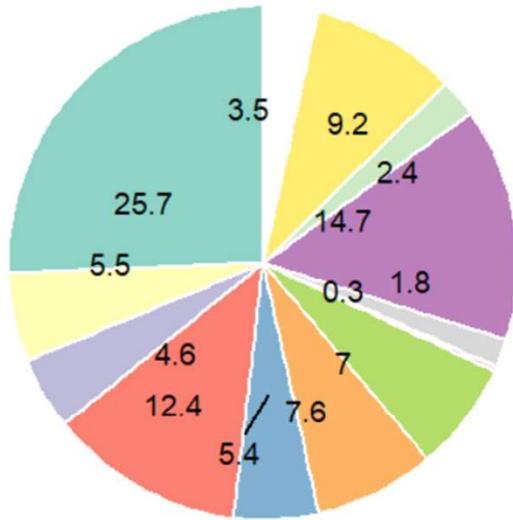


---

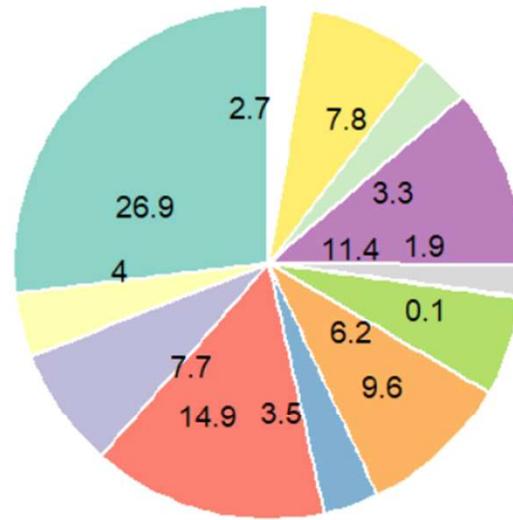
## ④ 属性情報

# 職業

マスク着用者の職業



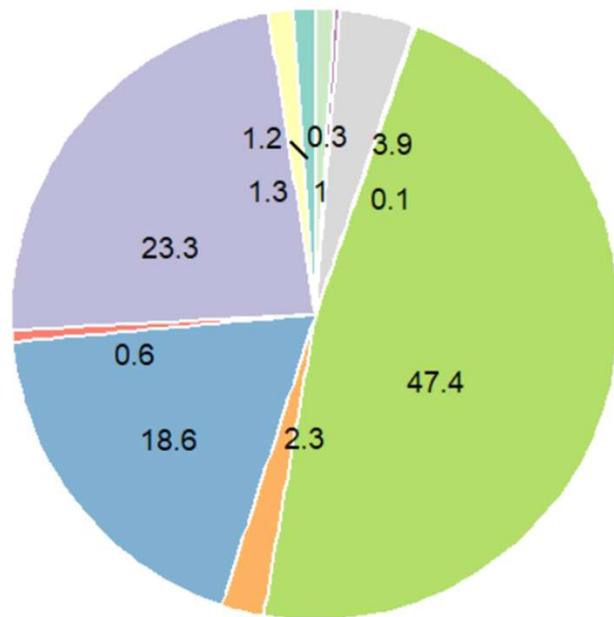
マスク非着用者の職業



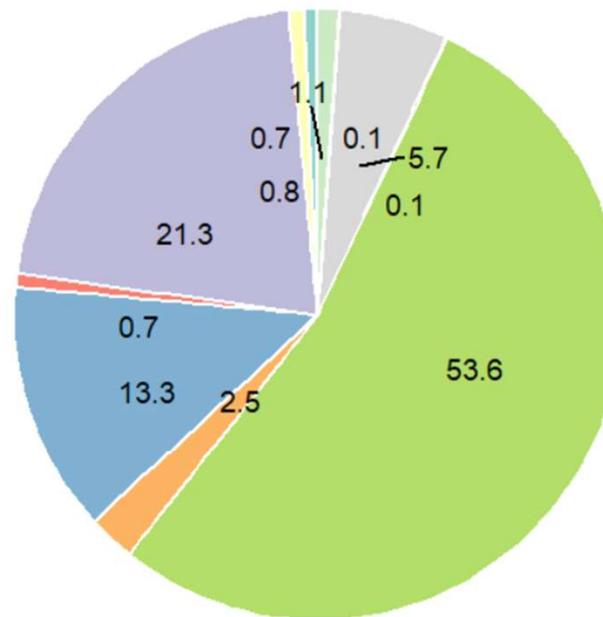
- 事務職
- 販売職(小売店主、販売店員、外交員など)
- 管理職(課長以上の公務員または会社員、会社役員など)
- 専門的・技術的職業(教員、技術者、作家など)
- 医療職・介護職(医師、看護師、介護福祉師など)
- サービス職(家政婦、ホームヘルパー、理美容師など)
- 現業職(大工、修理工、作業員、清掃従業員など)
- 農林漁業
- 年金受給者
- 専業主夫・主婦
- 学生
- 無職
- その他

# 最終学歴

マスク着用者の学歴

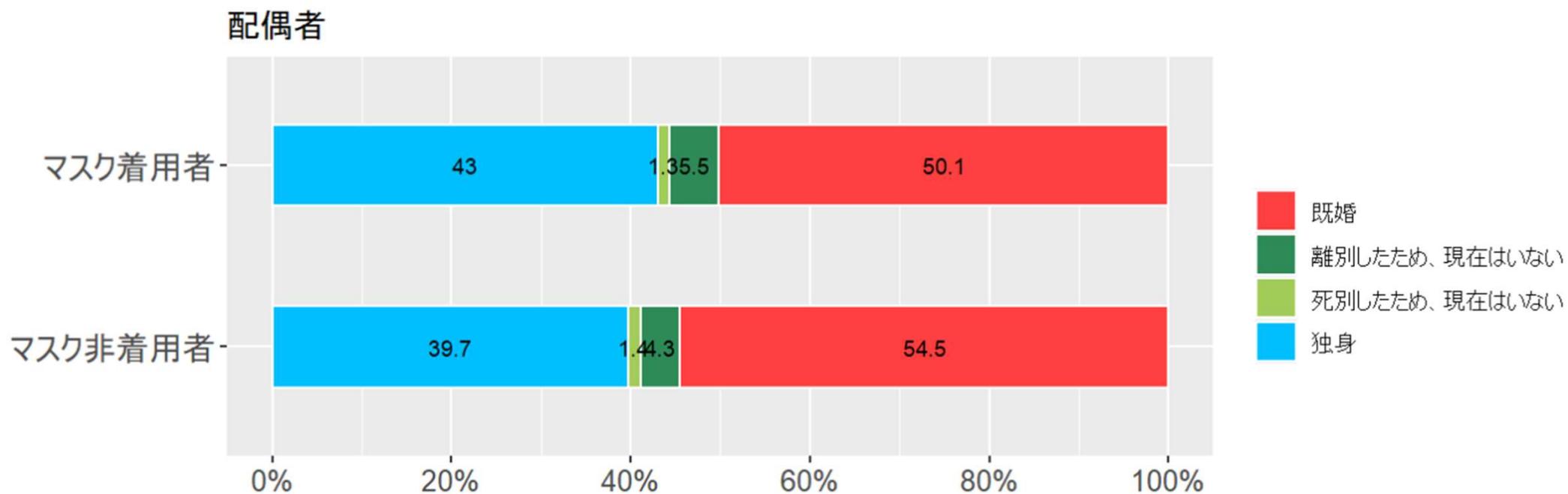


マスク非着用者の学歴



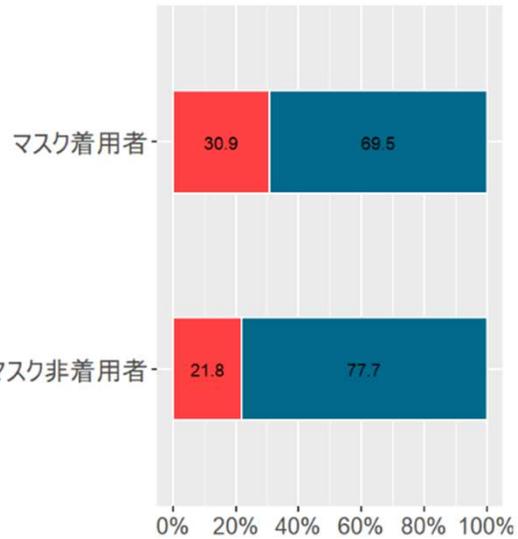
- 小中学校 卒業
- 高等学校 中退
- 高等学校 卒業
- 短期大学 中退(高専等を含む)
- 短期大学 卒業(高専等を含む)
- 大学 中退
- 大学 卒業
- 大学院修士課程 中退
- 大学院修士課程 修了
- 大学院博士課程 中退
- 大学院博士課程 修了

# 配偶者情報



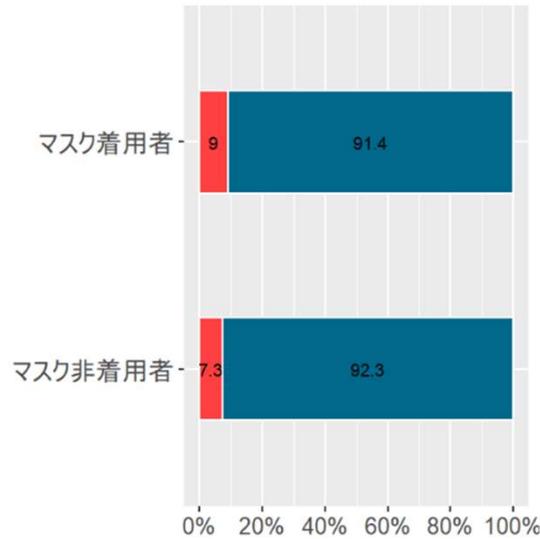
# 同居家族の構成

配偶者以外の65歳以上



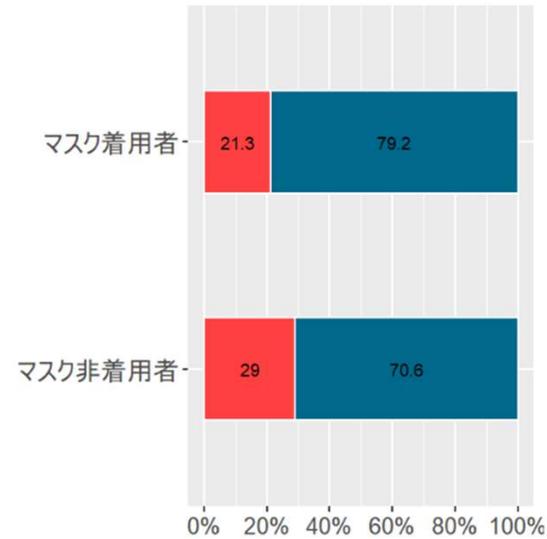
同居あり 同居なし

医療従事者の家族



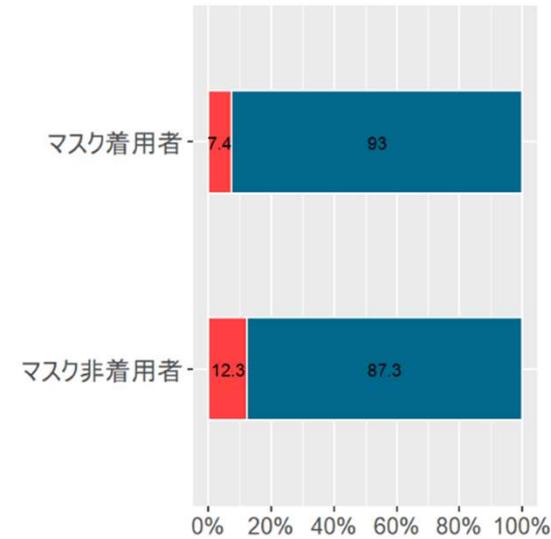
同居あり 同居なし

学生の家族



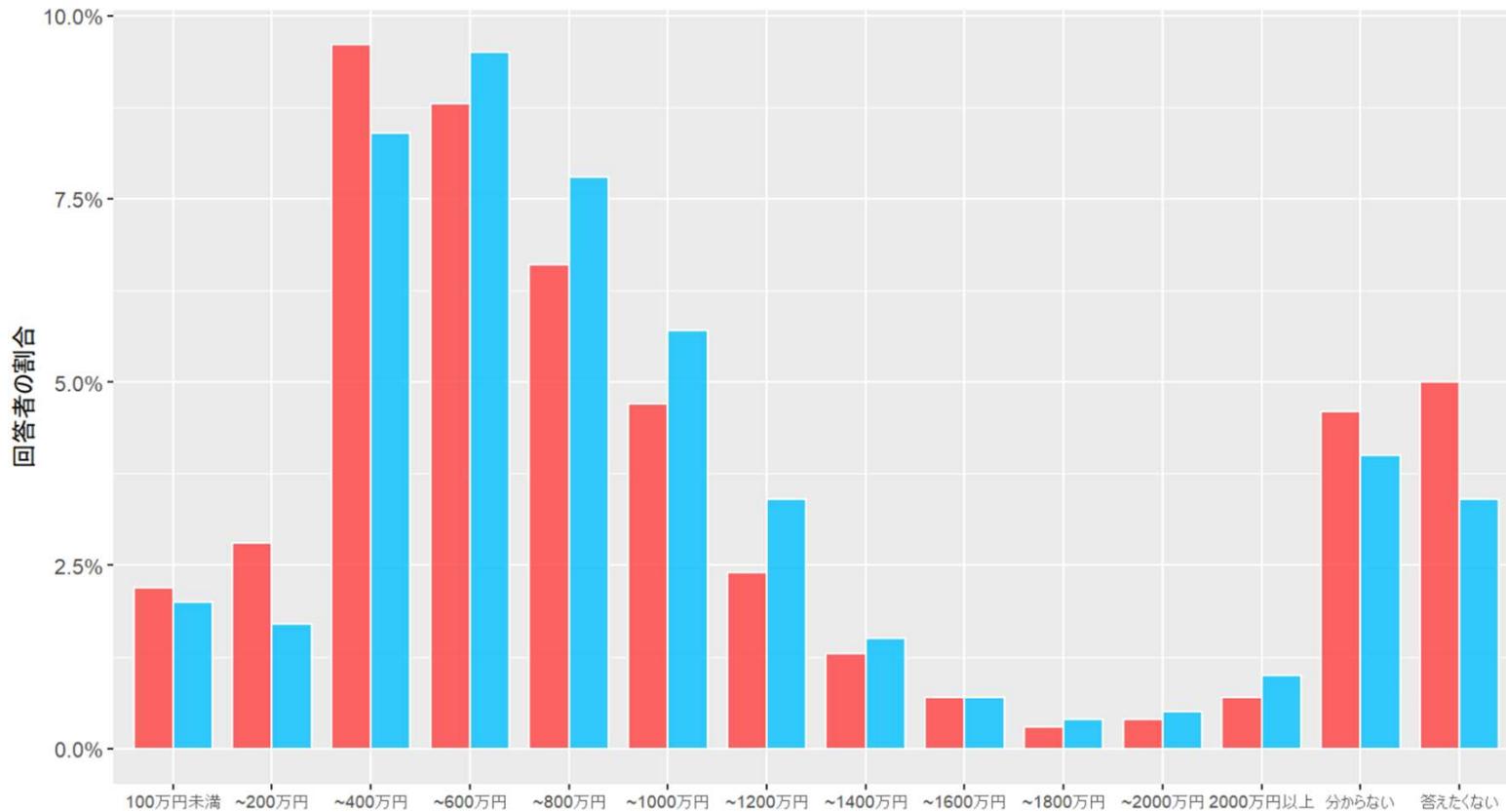
同居あり 同居なし

乳幼児の家族



同居あり 同居なし

# 世帯年収



**着用者 :**  
平均 612万円  
標準偏差 417

**非着用者 :**  
平均 673万円  
標準偏差 429

※「分からない・答えたくない」を除いて集計

- 
- 本調査研究の実施前に、東京大学倫理審査専門委員会と大阪大学感染症総合教育研究拠点倫理審査委員会の審査を受け、承認を取得した（承認番号：23-237, 2023CRER0822-2）。

- 実験デザイン・分析計画をAEA RCT Registryに事前登録している：

Sasaki, Shusaku, Hirofumi Kurokawa and Taisuke Nakata. 2023. “A Dictator Game Experiment with Face Mask Wearers and Non-mask Wearers in Japan.” AEA RCT Registry <https://doi.org/10.1257/rct.12025-2.1>

謝辞：鈴木恭平氏（大阪大学）に、リサーチ・アシスタントとして、データ整理・分析等のサポート業務を担当いただいた。